

森将軍塚古墳「御墳印」の販売開始について

歴史文化財センター 森将軍塚古墳館

千曲市には多くの観光資源がある中で、4世紀中頃に造られた長野県最大の前方後円墳である国史跡「森将軍塚古墳」は、1992年に復元整備されてから30年以上経ちますが、今も古代の歴史ファンの方々が全国各地から大勢訪れています。

このような森将軍塚古墳に訪れる方への記念品として、新たな取り組みとして、神社の「御朱印」と同じ体裁を模した「御墳印」を販売いたします。

1. 経過

森将軍塚古墳をもっとPRするにはどうしたらよいか、様々な模索をしていたところ、昨年9月に一般社団法人行田市おもてなし観光局から、埼玉県の国の特別史跡である埼玉古墳群を中心に「御墳印」を販売しているとの情報をいただきました。そのうえで同観光局より、東日本一帯に「御墳印」ネットワークを広めていきたいという壮大な思いの中で、国の史跡で長野県最大でもある森将軍塚古墳でも「御墳印」を作成できないかとの提案がありました。

2. 事業が始まった背景

埼玉県行田市には9基の古墳を有する国特別史跡「埼玉古墳群」の他、「八幡山古墳」、「地藏塚古墳」等多数の古墳が点在しています。埼玉県には約3,100基、関東全体では20,000基を超える古墳があります。

行田市おもてなし観光局が他地域との連携調整を行い、「御墳印」プロジェクトを立ち上げ、令和5年6月10日よりこの事業が始まりました。

最初は、埼玉県行田市をはじめ、熊谷市、羽生市、久喜市、東松山市、深谷市、吉見町の7市町でスタートしました。今ではその輪は県外へと広がり、愛知県名古屋市、犬山市、三重県明和町等、中部地方にも広がりつつあります。また、御墳印を販売する古墳については、国特別史跡、国史跡、県史跡に限定することで、よりプレミアム感を高めています。

3. 森将軍塚古墳の「御墳印」について

「御墳印」は、長野県では森将軍塚古墳が初の試みとなります。

4. 事業効果

- ・ 御墳印を集め各所を巡るという新たな楽しみ方を提供することで古墳観光の裾野拡大が図られる。
- ・ 御墳印収集のために訪れた方が市内の観光スポットを周遊することにも繋がる。
- ・ 御墳印を集める文化を創り出すことで、森将軍塚古墳をはじめとする古墳のブランド力が高まる。

5. 御墳印の製作について

- 令和5年12月19日 課内選定 行田市おもてなし観光局に印刷を依頼
- 内容 A6サイズ 150枚 印刷 30,000円(税込) 原価200円/枚
(古墳印のフォーマット作成及び「御墳印」印刷は、行田市おもてなし観光局で行う)
表題文字等の画像データは古墳館より提供
表題文字は、故森嶋稔氏の執筆文字を使用 (森嶋氏は森將軍塚古墳復元整備に尽力された者)

6. 御墳印の販売価格、時期について

- 販売価格 300円/枚 (税込)
- 販売先 森將軍塚古墳館 (月曜、祝祭日翌日、年末年始は休み)
- 販売日 令和6年3月20日(水)(春分の日)

御墳印イメージ



御墳印 (和紙風)

解説文 (別紙)